



力強い舞いを披露しました

豊作を祈願して門打ち 茶屋場えんぶり力強く

茶屋場えんぶり保存会（東春三会長）による旧暦の小正月行事として門打ちが2月5日、町内の福祉施設など8カ所で行われました。

えんぶりは、馬の頭を象徴化した華やかな「烏帽子」をかぶり、田をならすときに使う農具「えぶり」を持って舞うのが特徴。太夫3人による「舞込み」は、田植えなどの動作を力強く表現、豊作を祈願し舞い踊りました。その他「金輪切り」「大黒舞」なども披露されました。

八戸が発祥のえんぶりは当町に明治30年代に伝わったとされ、現在は茶屋場地区で唯一伝承されています。



白熱した戦いが繰り広げられました

寒さ飛ばす白熱の戦い まちなかで雪合戦大会

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催の第4回まちなか雪合戦大会は1月29日、JRバス葛巻駅構内で開催されました。今年是一般の部に10チーム、小学生・レディースの部に7チームが参加しました。

ヘルメットを着用して、雪玉を相手に命中させたり、相手陣地の旗を奪ったり、白熱した戦いを繰り広げました。一般の部は、葛高野球部のチーム同士の決勝戦となり、楽しい歓声が会場内に響きわたっていました。

優勝 【一般の部】葛高野球部Bチーム
【小学生・レディースの部】五日市メッツAチーム

雪中イベントいっぱい プラトード綱引き大会

くずまき高原牧場冬まつりは2月4日から2日間開催され、町内外から多くの家族連れでにぎわいました。

この冬まつりは、「すべてが家族で楽しむ体験型冬まつり」とあって、雪を利用した体験型コーナーがたくさんあり、なかでも恒例となった「雪中綱引き大会」は大変盛り上がりしていました。

今回は、小学生の部に7チーム、一般の部に12チームと例年以上の参加がありました。参加者らは、歓声をあげながら綱を引、思わず転んでしまうと楽しそうな笑い声が響いていました。



すべる足元にお母さんチームも思わず大笑い

意外に簡単でおいしい ハワイの家庭料理教室

家庭料理という身近なところから異文化交流と国際理解の機会を得ようと葛巻町公民館主催の「ハワイの家庭料理教室」は2月23日、総合センターで開催されました。八幡平市でフラダンススクールを開講している高橋香奈さん（kanaloa hula代表）が講師を務めました。

参加者は、ハワイの代表的な家庭料理の1つで、ご飯の上にハンバーグと目玉焼きをのせた「ロコモコ」やココナツミルクを使ったデザート「ハウピア」などを作りました。参加した阿部光子さん（野中）は、「意外に簡単に作れて、しかもおいしいですね」と話していました。



「食材も身近で手に入るんですよ」と話す高橋さん（中央）



次々に旗門をくぐり抜ける選手

選手ら心地よい風受け 白銀のゲレンデを滑る

町民スキー・スノーボード大会は2月19日、平庭高原スキー場で開催され、小学生から一般までの44人が参加しました。絶好のスキー日和で選手らは心地よい風を受け、白銀のゲレンデを次々にゴールへと滑り抜けました。小学生の結果は、次のとおりです。（敬称略）

●スキー競技 ▷小1～2男・村田帆（五日市2）▷小3～4男・志田将太郎（葛巻3）▷小3～4女・向川原菜々（葛巻4）▷小5～6男・星野紗輝（葛巻6）▷小5～6女・中村南美（葛巻6）●スノーボード競技 ▷小3～4女・村木咲音（葛巻4）▷小5～6女・星野帆乃華（葛巻6）



八戸市から駆け付けた「イサバのカッチャ」（魚の行商をする女性）の元気でパワフルなトークも楽しみました

新酒楽しむ高原の夕べ 森のワインパーティー

くずまきワインの「第23回高原の夕べ 森のワインパーティー」は2月3日、モウモウ館で開催されました。ワイン文化がしっかり定着し、恒例となったこのパーティーには、町民約180人が詰め掛けました。

今回は、被災地・近隣市町村との絆をテーマに、大槌町の赤武酒造、陸前高田市の酔仙酒造や普代村の鱒鍋、そして、いわてまち焼きうどんなど、おいしいものが盛りだくさんのパーティーとなりました。

2月4日発売のさくらワインの新酒がお披露目され、参加者はじっくりと味わい楽しんでいる様子でした。